

## 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の実現化に向けた取組について ～八王子市におけるイノベーション創出まちづくり～

### 1. 取組検討に向けた現状

八王子市及び地区の強みや弱み、社会状況等の現状について、以下のとおり整理する。  
なお、当地区に係る記載については下線で示す。

#### 1 八王子市及び地区の強み

- ①都内初の日本遺産「霊気満山 高尾山」、八王子城跡、滝山城跡等の歴史文化や観光資源
- ②市内に立地する企業、研究機関、大学、産業支援機関の数は、多摩地域で最多
- ③市内に外国人住民（約 1.3 万人）や学生数（約 9.4 万人）がおり、いずれも多摩地域有数
- ④包括連携協定、大学コンソーシアム、多摩地域広域連携などの多面的ネットワークの構築
- ⑤鉄道などの公共交通ネットワーク、道路交通ネットワークが充実、連携・交流が優位
- ⑥地元産業（織物）の発展など、先端産業・ものづくり産業の振興を支援してきた地区の歴史
- ⑦広域的な産業交流の中核機能を担う拠点となる産業交流センターが立地
- ⑧地区の一体的なまちづくりを展開する上で大きな資源となる公共施設用地の集積

#### 2 八王子市及び地区の弱み

- ①市内製造業数の減少
- ②中心市街地の回遊性・滞留性の不足、経済活力の低下
- ③地区周辺での憩い空間や防災対策となるオープンスペースの不足
- ④JR 八王子駅と京王八王子駅間における歩行者交通の混雑

#### 3 機会

- ①新型コロナ危機により、交流機会の希求、都市構造分散化、郊外転出意向の高まり
- ②Society5.0、DX、新たなモビリティ、脱炭素など、技術革新が進展
- ③自動車に対する個人の価値観の変化
- ④産業交流センターの開業による産官学民連携意識の更なる高まり
- ⑤まちづくりにおけるソフト施策や市民活動の活発化

#### 4 脅威

- ①生産年齢人口の減少、さらなる高齢化の進展
- ②人口減少による国内市場の縮小
- ③震災などの自然災害

## 2. 実現に向けた方向性

取組検討に向けた現状を踏まえ、まちづくり構想の実現に向けた取組を検討するにあたり、その方向性として、以下の3分野を設定する。

担い手づくり

・・・産業交流センターの整備効果を高める産業支援

場づくり

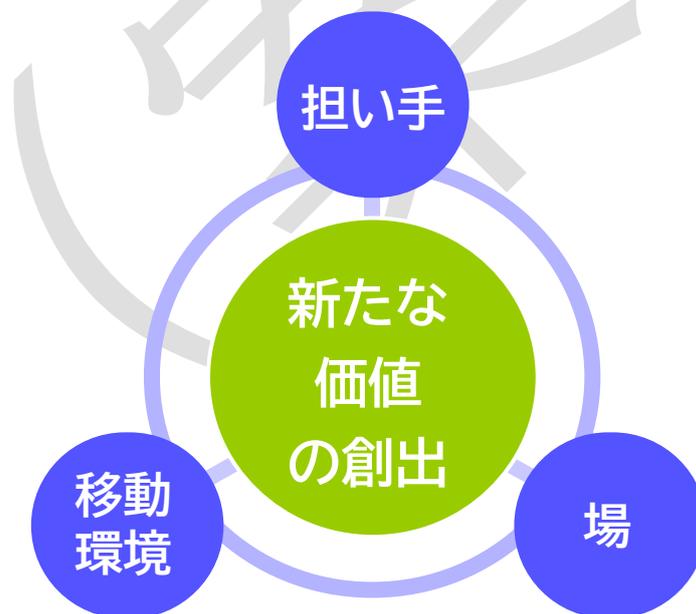
・・・中心市街地の魅力を向上させる都市型広場

移動環境づくり

・・・ウォーカブルなまちづくりを先導する交通環境

(将来像)

3分野の取組を推進することにより、旭町・明神町地区周辺まちづくり構想で示す将来像の実現を目指す。



### 3. 各分野における取組例（案出）

実現に向けた方向性で設定した各分野における取組例として、市街地整備課の主体的事業及びロードマップについて整理する。

取組提案		市街地整備課の 主体的事業
分野1 産業交流センターの整備効果を高める産業支援		
①	企業や大学同士を結ぶエコシステム形成に向けた体制づくり	
②	インキュベーションやコンサルティング機能の導入	○
③	八王子の広域観光プロモーション	
④	公民共創オープンイノベーション促進のため、市街地再開発で「対話の場」を導入	○
⑤	社会課題起点のオープンイノベーションプログラム	
分野2 中心市街地の魅力を向上させる都市型広場		
①-1	質の高い広場の整備に向けたコンセプト策定	○
①-2	質の高い広場の整備に向けた組織づくり	○
②	暫定利用期間を活用した広場でのトライアルサウンディングの実施	○
③	市街地再開発を契機とした媒介型プラットフォームの整備・運営	○
分野3 ウォーカブルなまちづくりを先導する交通環境		
①	様々なサービスや情報の提供がなされる「駅まち空間」の形成	
②	ウォーカブルなストリートデザインのプロジェクト	○
③	防災機能の導入	

なお、旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の目標実現に向けて、以下の視点から、優先的に着手する取組を選定する。

- ・多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)の整備効果を一層高めること
- ・予定されている市街地再開発事業の機会を有効に活用すること

上記の視点により選定した優先的取組

## 4. 優先的取組について

### ◆分野1 産業交流センターの整備効果を高める産業支援

#### ア ビジョン（目的）

- ・ものづくり産業、中小企業、飲食、商業、農業の多様な産業の交流により、新たなビジネスが育成される。
- ・多様なプレイヤーの交流・対話を誘発する環境が整備され、新しい知識・アイデアが創発される。

#### イ 取組

##### (ア) インキュベーションやコンサルティング機能の導入

創業初期にある起業家を中心に、事業化を支援するためのオフィススペース提供や専門人材とのマッチング支援等を行うインキュベーション施設を整備・運営する。

- ・シェアオフィスやイベントスペースといった支援が促進される設備の導入の検討
- ・施設内のコミュニケーションを促すインキュベーションマネージャーの導入の検討

##### (イ) 公民協創オープンイノベーション促進のための「対話の場」の導入

「対話の場づくり」を上記インキュベーション施設とあわせて整備し、各ステークホルダーの対話・連携を誘発する環境・仕組みを構築する。

- ・対話を誘発しやすい心地の良い環境の整備の検討
- ・オープンイノベーションの拠点となる、リビングラボの活動を促進する体制の検討



出典：ANCHOR KOBE（兵庫県 神戸市）



出典：THE CALENDAR（滋賀県 大津市）

#### ウ 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 将来像

- ・業種等を越えた地元企業や学生等、異なる属性間の交流が生まれ、企業の変革・協業の促進やオープンイノベーションの創出に発展している。
- ・社会的活動に取り組むプロボノや社会的起業家が多く輩出されている。

#### 取組のロードマップ

短期

中期

長期

導入検討

再開発事業



## ◆分野2 中心市街地の魅力を向上させる都市型広場

### ア ビジョン (目的)

- ・より多くの人に活用される広場空間が整備され、新たな交流・憩いの場が生まれている。
- ・広場整備を契機に周辺に魅力的な商業施設などが集まり、エリアの価値が高まる。

### イ 取組

#### (ア) 質の高い広場の整備に向けたコンセプト策定と組織づくり

広場の整備に向けて、コンセプトの策定及び、デザインや使い方、ルールを決定する。また、広場の整備計画や管理運営のマネジメントを担う組織の設立を目指す。

- ・ワークショップの開催や社会実験の実施により、多様な方の意見を整備計画へ反映
- ・ワークショップ等の開催により、広場のマネジメントの担い手候補を抽出

#### 暫定利用段階の体制案

##### (保健所跡地)広場の活用に向けた検討会 等

八王子市	施設管理者
地元団体・企業	市民団体・市民
交通事業者	有識者

#### テーマ

- ・広場のビジョン・コンセプト、デザイン・設え・設備について
- ・使い方や利活用・イベントについて
- ・管理運営の方法について
- ・運営事業者選定について

### ウ 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 将来像

- ・誰もが気軽に立ち寄れる心地よいパブリックな空間が外出・出会いのきっかけとなっている。
- ・市民・企業等による様々なイベントが開かれ、他の目的で訪れた来街者が立ち寄り、八王子の魅力を発見する。
- ・広場や産業交流センターがもたらす多様なひと・モノ・コトの出会いが、刺激に触れる時間・生活・アイデアを生み出している。

#### 取組のロードマップ



### ◆分野3 ウォーカブルなまちづくりを先導する交通環境

#### ア ビジョン (目的)

- ・車道中心だった駅前空間を、魅力ある歩道中心の空間とすることで、多様な人々が集い交流し、安全・安心なくつろぎの場やにぎわいが創出されている。

#### イ 取組

##### (ア) ウォーカブルな都市空間の整備

①無電柱化の推進や地区計画の有効活用等により、歩行空間の確保を行う。

- ・建物更新にあわせた歩道上空地の確保を促す地区計画の導入を検討
- ・幹線道路等の無電柱化を推進

②駐車場地域ルールを導入

- ・駐車場地域ルールにおいて、地区内の附置義務台数の低減、駐車施設の隔地・集約化を検討

③公共空間を活用した魅力ある空間づくり

- ・公共空間の活性化を図ることで、多様なチャレンジを誘発するとともに、魅力ある空間づくりについて検討



(イメージ)

道路にペイントを行うなどの実証実験

#### ウ 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 将来像

- ・誰もが気軽に立ち寄れる心地よいパブリックな空間が外出・出会いのきっかけとなっている。
- ・知り合いに出会う、イベントに参加する等、日常と非日常が交わる都市生活を楽しんでいる。

#### 取組のロードマップ

